

2 週連続大会開催！ 岡崎市はオリエンテーリングパラダイス！

## 第 60 回岡崎市 OL 大会

2005 年 1 月 30 日

60 という数字は人間でいえば還暦。1 月 30 日に岡崎市中央総合公園周辺で開催された第 60 回岡崎市オリエンテーリング大会には愛知県下を始め個人 116 名、グループ 16 組が参加。西風が強く吹きぬけるスタート地区では寒さに首をすくめるスタート前の参加者もチャイマーの合図で元気に飛び出す。

霜でスリップが心配された、スタートフラッグ直後の木の浮橋もスタート開始の 10 時には解けて全く問題なし。

E カードを使った運営にもすっかり慣れた。コースは安斎秀樹氏がプラン。長短のレグをうまく組み合わせ、比較的微小な地形に置かれたコントロールに参加者は果敢にアタックしていた。



岡崎市オリエンテーリング大会  
(写真提供：上林弘敏氏)

## 愛知 OLC 岡野氏の感想

やや風の強い日で、走り出すまでの間は寒かったが、いつものように走り出してしまうと地図を読むことに集中して、寒さを忘れてしまっていた。ス

タートが正式タイムより 1 分遅くなっていた。スタートでは E カードを放す時から計測が始まる方式を使っていたので、問題はないと思っていたが、所要時間はやはり 1 分多かったように思う。

勝負は前半の 4 つまでで決まったようだ。番から番へは、ピークに登らず、ほぼ南へコンタリングして南西に延びる尾根に到着。鞍部（あんぶ）まで下り、次のピークに登り、慎重に尾根を探す。急峻ではあるが尾根筋さえつかまえられれば、あとは下るのみで尾根をチェック。

番へは真っ直ぐコンタリング。アン部へ出て現在地を確認。コンパスも使い、沢を下って湿地へ。

番までもほぼ直進。最初の左への沢に入らないよう方向を確認して尾根まで何しろ登る。沢の中央部は小径らしいものがあり、通り易かった。後半は小径を通して広い道に出、ときどき歩いたりしながらひたすらゴールを目指す。

OLC 東海の生徒と同じコースだったので、ちょっと対抗意識を持ちながらの、約 45 分の走りだった。M60A の 1 位となり、賞状・賞品を頂けた。今回はほぼ順調であったが、この大会はいつもながら考えさせられ、ミスを繰り返して勝ったり負けたりして楽しい。

(愛知 OLC・岡野)



久しぶりに最後まで気持ち良く走れました。特にラス前のロングレグは面白かった。  
(M35A 優勝 古澤ヒロシさん)

## 第 18 回東海クラブカップリレー

2005 年 2 月 6 日

従来東海オリエンテーリングクラブ連絡協議会加盟クラブとその他のチームで別々のクラスであったものを今回一体化し、間口を広く明けた。またクラブ A クラス参加チームのうち、40 歳以上のもののみで構成されるチームのなかで最も成績の良かったチームを表彰するシニア特別表彰に代って、男子 50 歳以上女子 40 歳以上で構成させるベテランクラスを設定。ベテランの体力にふさわしいコースを走っていただけるように変更した。

愛知県岡崎市の東公園に東海 4 県を中心に 41 チームが参加し、カップを目指して、厳しい戦いを繰り広げた。

地図は「道根往還」の一部を切り出したもので、一部リメイクした。かつての石材切り出し現場のため、人工的に出来た微妙な地形を表現することに挑戦した。調査したのは筆者であるが、なかなか難しかった。

今回 A クラスのコースは第 3 走者のコースを 1 2 走者に対し 10 分長くし、最後のエースの戦いまで注目をさせるようにした。

A クラスはまず名大が三宅文彦の好走で先行、三河 OLC と OLC ルーパーは第 1 走者に女性ランナーを使い、追い上げる作戦。浜松 OLC は第 2 走者でトップに立ち、エース区間対決にかける。先行する浜松 OLC 李敬史を三河 OLC の松澤が必死で追ったが、わずかに 26 秒しか詰められず、松澤にすばらしい走りだったと言わせた、李の好走で初優勝を飾った。女子は第 2 走者で 5 位だったルーパーが工藤千晶の好走でゴボウ抜き。4 年ぶりの優勝。初の V クラスは三河 OLC が他を寄せ付けず優勝した。

(小野盛光)



東海クラブカップリレー A クラス優勝チーム  
(写真提供：桑山実氏)